

三段壁 国名勝へ 文化審議会

国の文化審議会（馬淵明子会長）は16日、白浜町の三段壁を名勝「円月島（高嶋）及び千畳敷」に追加指定するよう、松野博一文部科学相に答申した。

三段壁は高さ平均40〜50メートルで、幅は約1キロ。田辺層群白浜累層（新生代新第三紀の砂岩）で構成されている。約1

600万年前に海底に堆積した砂岩の地層が隆起した後、風化侵食で形成されたと考えられているという。

江戸時代の画家、祇園南海や桑山玉洲らの紀行図にも描かれてきた。昭和期以降はバスツアーなどの観光旅行の主要な目的の一つとして、南紀白浜の観光発展に大きな役割

を果たした。県内の国指定名勝は10件ある。今回は追加指定のため、件数に変更はない。

三段壁が国名勝に追加指定されることについて、白浜町の井瀬誠町長は「喜ばしいこと。これを機に、三段壁をさらにPRしていきたい」と話した。三段壁は静岡市のNPOから「恋人の聖地」と認定されているほか、吉野熊野国立公園にも入っている。



国の名勝に指定されることになった白浜町の三段壁